

徳島大学ハンドボール部

ダイナミックでスピーディーなスポーツ

ハンドボールは、ゴールやキーパーなど見た目は手を使ったサッカーのようですが、ルールはバスケットボールに似ています。1チーム7人で、ボールを相手のゴールにシュートして勝敗を競います。ボールを持って移動できるのはバスケットより1歩多く、3歩まで。走る・跳ぶ・投げるという、運動の基本、体全体を使うスポーツです。

日本ではまだマイナーな感のあるスポーツではありますが、中学生から社会人まで幅広い競技人口を有し、オリンピックの正式種目にも採用されています。

徳大ハンドボール部は現在、男子16人・女子はマネージャーも含めて7人です。女子はメンバーがそろえばチームを結成します。

中学・高校から経験あるメンバーもいますが、半数は大学に入ってから始めました。野球など全く違うスポーツ。



工学部建設工学科3年生
小川 徹 おがわ とおる

この他に試合は、5月のゴールデンスウィーク中に春の中四国大会と、7月の四国大会、8月には秋の中四国大会があります。



「携帯 090・7624・2519」。

保健管理センター

保健管理センター所長
前田 健一 まだけんいち



徳島大学保健管理センター
TEL:(088)656-7289
http://www.tokushima-u.ac.jp/Or_index/hokenc/title.htm

現状と今後の取り組みについて

平成19年4月より保健管理センター教授・所長を務めることとなりました。就任にあたり、この場を借りて、センターの現状や今後の取り組みなどについて述べたいと思います。

センターの現状

近年、体調不良や精神的問題を抱えて、保健管理センターを訪れる学生さんが非常に増えてきています。センターが広く認識され、気軽に利用していただけるようになったことでもあると思いますが、学生生活における支援を必要とする学生さんが増えてきていることも事実です。また法人化や労働安全衛生法の改正等に伴って、職員の健康管理やメン

タルヘルスケアに関しても、センターが重要な役割を果たす必要が生じてきています。

今年度の予定

今年の保健管理センターの改善に向けた取り組みとして、トイレの改修が予定されています。改修により障害者用のトイレが設置され、尿検査室もトイレに隣接して設置される予定となっていますので、健康診断での利便性が向上します。蔵本保健室については、看護師の在室時間が延長され、10時から4時までとなり、午前中についても対応ができるようになりました。それに伴い、診察室、休養室、カウンセリングルームなども確保する予定としてい

今後の取り組み

蔵本地区における医師不在の十分な保健管理体制、常勤精神科医の不在、有害業務等に関する特殊健康診断の充実など、まだ改善すべき問題がたくさんあります。また業務がストレスフルとなり、スト

レス改善のためのリラクゼーション施設もこれからは必要ではないかと思えます。こうした問題を解決するためには施設・人員両面での充実が必要です。私はこれまでも健診データベースの作成と自動健診システムの開発を行い、効率的な健康管理が行えるように工夫を行ってきました。しかし、システムの旧式化や職員健診への未対応など問題点があり、これからも健康管理体制の効率化に努力するとともに、その充実を図りたいと思います。

